

精神障害者の生活支援システム

問題 73 次のうち、「障害者総合支援法」に基づくサービスに関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 共同生活援助(グループホーム)は、介護給付に位置づけられている。
2. 福祉ホームは、自立支援給付に位置づけられている。
3. 住宅入居等支援事業(居住サポート事業)の実施主体は、都道府県である。
4. 行動援護は、外出時において視覚障害のある障害者に同行し、移動の援護を行う。
5. 自立訓練(生活訓練)の申請には、サービス等利用計画案の提出が求められる。

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 74 次のうち、精神障害者の就労を支援する機関に配置が規定されている職名として、適切なものを1つ選びなさい。

1. 公共職業安定所(ハローワーク)の精神障害者雇用トータルサポーター
2. 就労継続支援A型事業所の障害者職業カウンセラー
3. 地域活動支援センターのサービス管理責任者
4. 地域障害者職業センターの就労支援員
5. ジョブカフェの職業指導員

問題 75 次の記述のうち、諸外国における精神保健福祉に関する説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 アメリカでは、精神科病院の新設を禁止する法律第180号が制定された。
- 2 イタリアでは、「ついに闇からの脱出」が政府から発表された。
- 3 ニュージーランドでの当事者活動がクラブハウスモデルの起源である。
- 4 オーストラリアが起源となって、アンチスティグマプログラムとして「Open the Door」が発案された。
- 5 韓国では、精神保健福祉に関わる専門職として、精神健康専門要員が位置づけられている。

問題 76 指定特定相談支援事業者に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村が事業者を指定する。
- 2 生活が一時的に困難となった者を対象とした入所施設の運営を行う。
- 3 生活福祉資金の貸付けを行う。
- 4 地域定着支援を行う。
- 5 居宅サービス計画の作成を行う。

問題 77 行政機関における精神保健福祉業務に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 保健所は、成年後見制度利用支援事業の利用申請の窓口業務を担う。
- 2 保健所は、救護施設への入所措置に関する業務を担う。
- 3 保健所は、市町村が実施する精神障害者に対する施策の技術的な支援を行う。
- 4 精神保健福祉センターは、地域活動支援センター機能強化事業を実施する。
- 5 精神保健福祉センターは、精神障害者保健福祉手帳の申請の受理を行う。

(精神障害者の生活支援システム・事例問題)

次の事例を読んで、問題 78 から問題 80 までについて答えなさい。

[事 例]

Aさん(30歳, 男性)は, 21歳の時に統合失調症と診断され, 母親と二人で住む市内にあるX精神科病院に入院した。しばらくして症状はようやく落ち着いたが, 母親は自宅への退院に難色を示し, 他の退院後の受入先も確保できず退院の話は進まなかった。そのうちAさんの退院意欲が減退したこともあり, 入院は長期化した。

Aさんは28歳の時, 地域で生活する精神障害当事者と対話できるX精神科病院内のプログラムに参加した。そこでAさんは退院意欲が喚起され, 病院のB精神保健福祉士に, 「退院して自宅に戻りたい」と相談を持ちかけた。B精神保健福祉士は, Aさんとの面接に加えて母親との面接を設定した。面接で母親は, 「病気のことがよく分からないし, また入院前の, あの大変な状況に戻っても対応できる自信がない」と語り, 自宅への退院に後ろ向きであった。B精神保健福祉士は, 家族を対象に専門家が実施するX精神科病院内の家族の感情表出に着目したプログラムへの参加を勧めた。(問題 78)

プログラムへの参加を通して, 母親はAさんの自宅への退院に前向きになり, 様々な人の支援を受けながらAさんは自宅へ退院した。しかし退院後間もなく, 母親は体調を崩して1週間ほど入院となり, 自宅でAさんの身の回りの世話をできる人がいなくなった。Aさんは生活能力の低下もあいまって心細さを強く訴えるようになったため, 「障害者総合支援法」に規定される, 短期間の入所により食事や入浴の提供などを行うサービスを利用することとした。(問題 79)

母親の退院後しばらくして, Aさんは自宅に戻った。B精神保健福祉士の勧めでY地域活動支援センターに通い, 徐々に地域での生活を楽しむようになった。Y地域活動支援センターでは, 米国で精神障害当事者が開発したりカバリーに向けたプログラムが行われていた。入院中に知り合ったCさんに誘われてAさんもそのプログラムに参加した。そこで, 自分のこれからの人生を考えられるようになった。(問題 80)

(注) 「障害者総合支援法」とは, 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 78 次のうち、Aさんの母親が参加したプログラムとして、適切なものを1つ
選びなさい。

- 1 心理教育
- 2 社会生活技能訓練(SST)
- 3 包括型地域生活支援プログラム(ACT)
- 4 ピアカウンセリング
- 5 森田療法

問題 79 次の記述のうち、Aさんが利用したサービスの説明として、正しいものを
1つ選びなさい。

- 1 利用者の外出時における移動中の介護を行う。
- 2 保健所が利用申請の窓口である。
- 3 夜間もサービスを提供する。
- 4 訓練等給付に基づくサービスである。
- 5 定期的な巡回訪問を実施する。

問題 80 Aさんが参加したプログラムに関する次の記述のうち、適切なものを2つ
選びなさい。

- 1 「私たちは一人ぼっちではない(We are not alone)」を合言葉とした。
- 2 精神障害当事者が中心となって実施する。
- 3 支援者と共同で創出した働く場が起源である。
- 4 困難な時の対処方法について、プランをあらかじめ作成する。
- 5 匿名での参加が原則である。